

## イプリフラボン 400mg/g 細粒

溶出試験 本品約 0.5g を精密に量り，試験液にラウリル硫酸ナトリウム溶液（1 : 50）900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 75 回転で試験を行う．溶出試験開始 45 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 2mL を正確に量り，薄めたメタノール（1 : 2）を加えて正確に 50mL とし，試料溶液とする．別にイプリフラボン標準品を 105 $^{\circ}$ C で 2 時間乾燥し，その約 0.022g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 2mL を正確に量り，ラウリル硫酸ナトリウム溶液（1 : 50）2mL 及び薄めたメタノール（1 : 2）を加えて正確に 50mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，水を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 300nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する．

本品の 45 分間の溶出率が 70% 以上のときは適合とする．

イプリフラボン（ $C_{18}H_{16}O_3$ ）の表示量に対する溶出率（%）

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

$W_S$ ：イプリフラボン標準品の量（mg）

$W_T$ ：イプリフラボン細粒の秤取量（g）

$C$ ：1g 中のイプリフラボン（ $C_{18}H_{16}O_3$ ）の表示量（mg）

イプリフラボン標準品 日本薬局方外医薬品規格を準用する．